ピタリシステム

デンチャー王手の秘訣 はテンポラリーにあり。

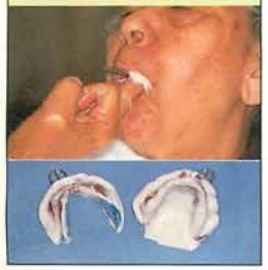
後処置なしで、ピタリと一回で製作できる秘訣は、テ
第1に、テンポラリー装着中に患者さんの
込んだ形状に仕上げる技術とノウハウ。そして第2に、テ

ポラリー（仮義歯）を活用した2大ポイントにあります。
あらゆる不満を改善し、要望をすべて盛り
のテンポラリーを完璧に本義歯に置き換える技術です。

●デンチャー王手製作工程と診療プログラム

概形印象

通法のテクニックで概形印象を採得します。不足ぎみよりも過剰気味に。



【技工所】

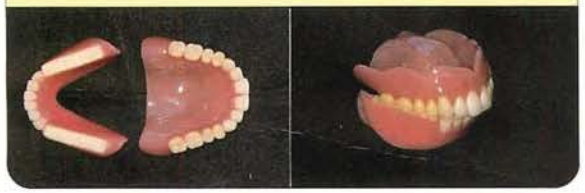
概形印象模型にて、模型修正、リリーフ等を行なった上で、咬合床を製作します。

咬合採得

通法に従って、解剖学的咬合高径を求め、正中線と切縁ラインを決定します。

【技工所】

治療用ワックスデンチャーの製作。機能的な印象と習慣性の中心咬合位を求めるための治療用仮義歯を製作します。



治療用仮義歯試適

外観と嚥下の確認をします。

【技工所】

治療用仮義歯重合・完成。

治療用仮義歯装着

コーソフト（COE-soft）を用いて、リライニングを行ないます。
辺縁は大きく伸ばさず、少なめがポイント。

治療用仮義歯粘膜調整

患者をリコールし、コーソフトにより必要な部位を調整し、「痛くない」「安定した」状態を作り出します。
適正な習慣性中心咬合位が決定されるには、義歯の痛みがなく十分に安定した後、2週間使用するのが標準となります。これが臨床の勘どころで、数回を要する場合もあります。

治療用仮義歯による本印象

24時間の機能印象。

治療用仮義歯

ビスコゲル（Visco-gel）にて
やわらかめがキーポイント。

咬合固定

印記された習慣性中心咬合位で咬合させ、上下顎義歯をシリコン、石膏等で固着します。患者さんは旧義歯を使用。または義歯のないままの状態となります。

【技工所】

本義歯模型製作。本義歯ワックスデンチャーを製作します。

本義歯ワックスデンチャー試適

審美性と、タッピング、嚥下による咬合の確認を行ないます。

【技工所】

本義歯重合
・完成。

本義歯装着

患者自身に装着させ、その日は帰宅。痛みがあればすぐ来院してもらいますが、問題がなければ1週間後をアポイント。

本義歯咬合調整

カーボランダムペーストを利用して口腔内で自動削合させます。

※詳しい資料は当社営業にご請求下さい。